

NU-CAR 2019 年度第 4 回基礎講習会

テーマ: CASE のための無線通信技術と 5G 技術の動向

ITS を指向した通信技術として DSRC と C-V2X がある。本邦で DSRC と表記すると料金收受システム(ETC)と ETC2.0 で用いられる無線通信方式とされる。一方、諸外国では車輦用短距離通信方式を意味し、V2V、V2X といった多様な組み合わせにて料金收受以外の目的に使用する。また、携帯電話用通信技術を応用した C-V2X も登場した。連邦通信委員会(FCC)は、昨年、C-V2X のみか、両方式の共存か、の 2 案を法制化可能性として公表した。

本講習会では、これらの無線方式とアプリケーションについて特に CASE の視点から概観する。また、国内でも本年から商用化が始まる第 5 世代携帯電話方式を解説し、これの V2X 応用の可能性と意義を直前に開催された MWC2020 Barcelona の報告を含めて解説する。

開催日: 2020 年 3 月 10 日(火) 13:30~17:00

場 所: 日本大学生産工学部津田沼キャンパス 37 号館 4 階 401 教室(千葉県習志野市泉町 1-2-1)

主 催: 日本大学生産工学部 自動車工学リサーチ・センター(NU-CAR) <http://nu-car.jp>

後 援: 名古屋大学未来社未来社会創造機構モビリティ社会研究所

講 師:



日本大学生産工学部機械工学科・客員研究員 杉沼浩司

1998 年 9 月 米カリフォルニア大学アーバイン校工学部博士課程修了 Ph.D. (電気・計算機工学)

1998 年 10 月~2009 年 5 月 ソニー (株)

2011 年 5 月~ 日本大学生産工学部数理情報工学科講師 (非常勤)

2014 年 7 月~ 日本大学自動車工学リサーチ・センター客員研究員

航空無線通信士

米 FAA 認定上級地上教官、米 FAA パイロット、西 AESA ドローンパイロット

【講習内容】

- ① 通信方式の概要(WAVE, LTE-Advanced, 5G)
- ② 5G 技術と商用化の最新状況
- ③ IoT 指向のアプリケーションと 5G の交通応用
- ④ CASE を支える通信技術とアプリケーション

【参加者】

◆参加費: 日本大学 NU-CAR 賛助会員(1 口 3 名様まで無料)

一般参加者 10,000 円

協賛学会員(自動車技術会等) 5,000 円

※支払: 当日現金

◆募集定員: 最大 30 名程度

◆参加受付期間: 3 月 9 日(月)まで

◆参加申込方法: <http://nu-car.jp> 内、参加フォームより応募してください。

◆お問合せ: 長峯(Phone: 047-474-3188、E-mail: cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp)

*定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

【協賛学会(予定)】

公益社団法人自動車技術会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電子通信情報学会